

子どもの貧困研究のフロンティア

COVID-19

定例学術研究会 <第47回>

COVID-19は第5類に移行しましたが、子どもたちは依然としてCOVID-19の影響下に置かれています。2023年度の不登校の小中学生は約34万6千人と過去最多となり、いじめ・暴力行為も同様です。抑うつ、不登校、自傷・摂食障害、自殺（企図）等の「コロナ禍後遺症」問題は「時間差」をもって顕在化し、長期化する傾向にあります。今回は、高橋智・日本大学教授を代表とする研究チームの成果について、チーム・メンバーの一人である能田昴先生（秋田大学）にご報告いただきます。ここでは、取り組んできた子どものコロナ禍後遺症と発達困難・リスクに関する調査研究の成果を中心にご報告いただきます。

日時：2025年1月30日（木）18:30－20:30

報告：子どもは現在もコロナ禍の最前線にいる

－子どものコロナ禍後遺症と発達困難・リスクの最新動向－

報告者：能田 昴 先生

（秋田大学 教育文化学部 学校教育課程 こども発達・特別支援講座 講師）

ハイブリット開催：ZOOM

対面：東京都立大学オープンユニバーシティ飯田橋キャンパス

（東京都千代田区飯田橋3－5－1 東京区政会館 3階 32教室）



ZOOM 申込

<https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZUpdO>

[Gpqz0rH9FeQJo6b6vPKoi_MjYSb9t7](https://us06web.zoom.us/j/9171111111)



対面申込

<https://forms.gle/Jgv4VVMDmct2L9Rj6>

お問い合わせ

東京都立大学子ども・若者
貧困研究センター

E-mail:rccap@tmu.ac.jp

（担当者 三浦・松原）